

2018年度詳細環境調査分析機関報告データ

底質

2018年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名: 詳細環境調査  
 調査媒体: 底質(ng/g-dry)  
 地方公共団体: 茨城県  
 調査地点: 利根川河口かもめ大橋(神栖市)

調査対象物質	測定値			報告時 検出下限値	検出下限値
	検体1	検体2	検体3		
[1] アルキルベンゼンスルホン酸 (アルキル基は直鎖状で炭素数が10から14までのもの。)及びその塩類 (別名: LAS (アルキル基の炭素数が10から14までのもの。)及びその塩類)	nd	nd	nd	※※71	※※120
[1-1] 直鎖デシルベンゼンスルホン酸及びその塩類	nd	nd	nd	5.3	8.9
[1-2] 直鎖ウンデシルベンゼンスルホン酸及びその塩類	nd	nd	nd	22	38
[1-3] 直鎖ドデシルベンゼンスルホン酸及びその塩類	nd	nd	nd	24	40
[1-4] 直鎖トリデシルベンゼンスルホン酸及びその塩類	nd	nd	nd	19	32
[1-5] 直鎖テトラデシルベンゼンスルホン酸及びその塩類	nd	nd	nd	1.4	2.0
[2] 2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロピル=3-フェノキシベンジルエーテル (別名: エトフェブロックス)	0.14	nd	---	0.098	0.14
[6] 中鎖塩素化パラフィン類 (アルキル鎖の炭素数が14から17までで、かつ、塩素数が4から9までのもの。)	nd	nd	nd	※※21	※※27
[6-1] 塩素化テトラデカン類 (塩素数が4から9までのもの。)	nd	nd	nd	※※6.7	※※7.5
[6-1] 塩素化テトラデカン類 (塩素数が5から8までのもの。)	nd	nd	nd	※※5.3	※※5.7
[6-1-1] テトラクロロテトラデカン類	nd	nd	nd	0.80	1.1
[6-1-2] ペンタクロロテトラデカン類	nd	nd	nd	1.6	1.8
[6-1-3] ヘキサクロロテトラデカン類	nd	nd	nd	1.8	2.0
[6-1-4] ヘプタクロロテトラデカン類	nd	nd	nd	0.89	0.99
[6-1-5] オクタクロロテトラデカン類	nd	nd	nd	0.84	0.93
[6-1-6] ノナクロロテトラデカン類	nd	nd	nd	0.83	1.2
[6-2] 塩素化ペンタデカン類 (塩素数が4から9までのもの。)	nd	nd	nd	※※4.2	※※4.7
[6-2-1] テトラクロロペンタデカン類	nd	nd	nd	0.65	0.90
[6-2-2] ペンタクロロペンタデカン類	nd	nd	nd	0.73	0.82
[6-2-3] ヘキサクロロペンタデカン類	nd	nd	nd	0.76	0.84
[6-2-4] ヘプタクロロペンタデカン類	nd	nd	nd	0.92	1.0
[6-2-5] オクタクロロペンタデカン類	nd	nd	nd	0.67	0.74
[6-2-6] ノナクロロペンタデカン類	nd	nd	nd	0.49	0.68
[6-3] 塩素化ヘキサデカン類 (塩素数が4から9までのもの。)	nd	nd	nd	※※6.0	※※7.8
[6-3-1] テトラクロロヘキサデカン類	nd	nd	nd	1.0	1.3
[6-3-2] ペンタクロロヘキサデカン類	nd	nd	nd	1.4	2.0
[6-3-3] ヘキサクロロヘキサデカン類	nd	nd	nd	0.89	0.99
[6-3-4] ヘプタクロロヘキサデカン類	nd	nd	nd	0.96	1.3
[6-3-5] オクタクロロヘキサデカン類	nd	nd	nd	0.95	1.2
[6-3-6] ノナクロロヘキサデカン類	nd	nd	nd	0.73	1.0
[6-4] 塩素化ヘプタデカン類 (塩素数が4から9までのもの。)	nd	nd	nd	※※4.1	※※5.7
[6-4-1] テトラクロロヘプタデカン類	nd	nd	nd	0.71	0.99
[6-4-2] ペンタクロロヘプタデカン類	nd	nd	nd	0.77	1.0
[6-4-3] ヘキサクロロヘプタデカン類	nd	nd	nd	0.98	1.3
[6-4-4] ヘプタクロロヘプタデカン類	nd	nd	nd	0.70	0.97
[6-4-5] オクタクロロヘプタデカン類	nd	nd	nd	0.60	0.83
[6-4-6] ノナクロロヘプタデカン類	nd	nd	nd	0.37	0.51
[9] 3-フェノキシベンジル=3-(2,2-ジクロロピニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシラート (別名: ペルメトリン)	nd	nd	nd	0.16	0.22

(注1) 「nd」は不検出を意味する。

(注2) ※※: アルキル基の炭素数別の検出下限値の合計値である。

(注3) アルキル鎖の炭素数が14から17までで、かつ、塩素数が4から9までのものの合計値を算出する際にはndを0として算出している。

(注4) 塩素数が4から9までのものの合計値を算出する際にはndを0として算出している。

(注5) 塩素数が5から8までのものの合計値を算出する際にはndを0として算出している。

(注6) ---: 欠測等